

# あいさつ運動の好事例

倉敷市立児島小学校

(児童数 784名 教職員数 52名)

## 全校で、毎日あいさつ運動！！

～ 全校生徒による取組 ～

### アピールポイント

全校で1年間を通して取り組むあいさつ運動。運営委員会の児童が「児島小の自慢を増やそう！」と、毎月各クラスに当番表を作成し、配布します。何年も続くあいさつ運動で、本校の自慢の取り組みの一つになっています。低学年・中学年・高学年で活動日や立つ場所を割り振りしています。

朝から気持のよいあいさつが校内に響き渡り、児島小学校はいつも元気いっぱい一日がスタートします。

また、月に数回、保護者の方々も校門に立ち、あいさつ運動をしてくださっています。「学校だけでなく、地域全体で子どもたちを見守っている」そんな雰囲気を感じられる本校です。

### 実際の様子



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

毎日元気に登校してくる。しかし、なかなか自分から他学年に積極的にかかわろうとする児童は少ない。また、あいさつを自分から進んで行うということが習慣化されていない。

#### ■活動内容

日替わりでクラスごとに校門や靴箱に立ち、あいさつ運動を行う。

#### ■取組の参加メンバー

全校児童・教職員

#### ■成果・効果

全校・学級での取り組みということで、自分からあいさつをする児童が増えた。そのことで、他者を思いやる心を育てている。